

【単元シート】

単元	詩 「永訣の朝」(宮沢賢治)
----	----------------

配当時間 ( 3 ) 時間

生徒の実態	次	詩全体の概要把握	表現の特徴・心情把握・朗読	内容理解と心情把握
	目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩を正確に音読できるようにする。</li> <li>○詩が作られた背景を理解する。</li> <li>○詩の構成を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現の工夫を理解する。</li> <li>○作者自身になったつもりで朗読することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○表現・作者の心情の細部を理解する。</li> <li>○作者の理想や世界観について理解する。</li> </ul>
	学習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○音読</li> <li>○人物関係の理解。</li> <li>○詩に読まれている場面や状況の理解。</li> </ul> <p>配当時間 ( 1 ) 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「わたくし」の心情変化の把握。</li> <li>○全文朗読。</li> <li>○ペアで朗読。</li> </ul> <p>配当時間 ( 1 ) 時間</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「雪」のイメージと「雪」に込められた願いの確認。</li> <li>○「いのり」の内容の確認。</li> </ul> <p>配当時間 ( 1 ) 時間</p>
	手だて(全体・A層・C層)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○黙読の後、音読をすることで、読めない漢字がないようにする。</li> <li>○詩の構成を理解しやすいように、時間や場所に注意するように助言する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩の内容を理解した上でペアで朗読をし、互いに評価をする。</li> <li>○朗読の専門家によるテープを聴く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ペア学習を行い、自分の意見を述べ、相手の意見を聞く。</li> <li>○前時との、時間・場面・心情の変化を理解する。</li> <li>○プリントによるまとめの設問。</li> </ul>

生徒のゴール像									
<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩に対する苦手意識を取り除き、興味・関心を持たせる。</li> <li>○詩的表現の特徴を理解することができる。</li> <li>○自分で考えたり、自分の意見を述べるなど、主体的に学習に取り組むことができる。</li> </ul>									
手だての有効性									
①発問の工夫	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ----- </td> </tr> </table>	1	2	3	4	-----			
1	2	3	4						
-----									
②板書の工夫	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ----- </td> </tr> </table>	1	2	3	4	-----			
1	2	3	4						
-----									
③ペアでの話し合いの工夫。	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ----- </td> </tr> </table>	1	2	3	4	-----			
1	2	3	4						
-----									
④ペアで朗読し、互いに評価することの工夫。	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> ----- </td> </tr> </table>	1	2	3	4	-----			
1	2	3	4						
-----									
次の単元・次年度へ向けての留意点									
<p>ペアによる、意見交換と朗読の相互評価は効果的であった。詩の朗読は、部分的でも全員に発表させるとよい。そうになると、朗読の時間を1時間取る必要がある。ペアの組み方についても配慮が必要である。</p>									

◎授業者〔職名・氏名

〕◎実施日・校時〔平成21年10月 日（ ）・4校時

◎授業クラス〔2年〇組：生徒数〇名

〕◎実施場所〔2年〇組

学習の展開（内容、活動）	授業の手だて・工夫（指導上の留意点）			授業の振り返り	
〔授業目標〕	全体	A層	C層	手だての有効性	〔手だて・工夫など〕
<p>・作品の場面や状況を理解する。 ・作品の場面や状況にふさわしい朗読を行うことができるようになる。</p> <p>導入 前時の復習。</p> <p>↓</p> <p>内容（ア）作品全体の構成把握。</p> <p>全体を意味段落に分ける。</p> <p>書き手の心情変化を読み取る。</p> <p>↓</p> <p>内容（イ）作品の場面や状況を踏まえた朗読。</p> <p>朗読を行い、相互に評価をする。</p> <p>俳優の朗読CDを鑑賞する。</p> <p>↓</p> <p>本時のまとめ 書き手の心情の変化をうまく朗読で表現できたかを振りかえる。</p>	<p>○作者のいる場所や時間の推移を表す表現を抜き出し、板書させる。</p> <p>○ペアを作り、互いに朗読を聞かせ合った後、朗読のどこがよく、どこを改善した方がよいかを相互で指摘しあう。</p> <p>○朗読CDの鑑賞は朗読のあくまで一例に過ぎないことを確認しておく。</p>	<p><del>○作者の行動を要約し段落分けに利用させる。</del></p> <p>・「作者は、今、何をしながら妹のことを想っているか」という発問に変更。</p>	<p>○場所や時間を示すと思われる箇所を抜き出すように伝える。</p> <p>○妹の言葉のリフレインに注意させ、構成の手がかりにさせる。</p>	<p>・生徒に活動をさせることを通して、生徒の意欲を高めることができると感じた。</p> <p>・「朗読」にペア活動を取り入れたのは有効であった。</p> <p>・朗読評価表を配り、コメントを記入して相手に渡すようにするとよい。</p>	<p>①発問の工夫 1 2 3 4</p> <p>②板書の工夫 1 2 3 4</p> <p>③ペア活動の工夫 1 2 3 4</p> <p>④朗読CDの工夫 1 2 3 4</p> <p>↓</p> <p>次の授業の改善など</p> <p>・詩のイメージを音声言語で表現するという活動は効果的であった。 ・次の時間は詩のイメージをイラストに描いて、視覚的に表現するという活動を取り入れたい。</p>

学習の展開（内容、活動）	授業の手だて・工夫（指導上の留意点）			授業の振り返り	
[授業目標]	全体	A層	C層	手だての有効性	[手だて・工夫など]
<p>・作者の心情の細部を理解する。 ・作者の理想や世界観を理解する。</p> <p>導入 前時の復習。</p> <p>↓</p> <p>内容（ア）「わたくし」の心情把握の変化を理解する。</p> <p>妹の言葉によって変化する「わたくし」の心の変化を読み取る。</p> <p>「雪」のイメージと「雪」に込められた「わたくし」の願いを確認する。</p> <p>↓</p> <p>内容（イ）作者の理想や世界観について理解する。</p> <p>「いのり」の内容を理解する。</p> <p>↓</p> <p>本時のまとめ 妹の与えてくれた一碗の雪によって、悲しみから、人類全体への「いのり」へと昇華している構成になっていることに気付く。</p>	<p>○ペアで考えさせる。他のペアと意見交換させて、参考にさせる。</p> <p>○雪の描写の変化に注目するように伝える。</p> <p>○「わたくし」の独白から、妹の姿を連想し、さらに、祈りへと場面が展開していることをつかませるために、各場面のイメージをイラストに描く活動を取り入れる。</p> <p>○「わたくし」の決意の内容をまとめさせる。</p>	<p>○なぜ、雪の形容が変わったのか、その理由を考えさせる。</p> <p>○悲しみが気高いものに昇華していくことに気付かせる。</p> <p>○「わたくし」と「妹」の理想としている人生観を読み取らせる。</p>	<p>○雪に関する描写を抜き出させる。</p> <p>○妹の言葉「うまれでくるだで」がどんな人生観なのかを理解させる。</p>	<p>手だての有効性</p> <p>・ペアで話し合わせ、さらに他のペアと意見交換させたことは、自分の考えを相対化できると共に、他者の考えを知ることができた点で効果的であった。</p> <p>・生徒に、詩のイメージをイラストに描く活動は、「わたくし」の心情変化を読み取る上で効果的であった。</p>	<p>[手だて・工夫など]</p> <p>①ペアで話し合わせる</p> <p>1 2 3 4</p> <p>②各場面のイメージをイラストに描かせる</p> <p>1 2 3 4</p> <p>↓</p> <p>次の授業の改善</p> <p>・詩の読解においては、分析的に解釈すると同時に、朗読やイラスト化などの活動を取り入れることが有効であると感じる。</p>